

県立高等学校改革計画の進捗状況と統合校の魅力化について

福島県総合教育会議
令和5年8月24日
県立高校改革室

《前期実施計画の推進と魅力化》

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)	学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)	学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
安積・御館校	R2	募集停止	須賀川	R4	須賀川創英館 普通・6	梁川	R5	伊達 普通・6
修明・鮫川校	R2		長沼			保原		
川俣	R2	1学級本校化	大沼	R4	会津西陵 普通・4	二本松工業	R5	二本松実業 工業・3、家庭・1
猪苗代	R2		坂下			安達東		
只見	R2		湯本	R4	いわき湯本 普通・6	白河実業	R5	白河実業 工業・5、商業・1
喜多方	R3	遠野	塙工業					
喜多方東		喜多方 普通・5	相馬東	R4	相馬総合 総合・5	修明	R5	農業科の集約 文理・1、農業・3、商業・1
小名浜	R3	小名浜海星 普通・1 商業・1 水産・3	新地			耶麻農業	R5	会津農林 農業・4
いわき海星			保原(定時制)	ふくしま新世 普通・1	会津農林			
			R4			田島	R5	南会津 総合・3
			福島中央		南会津			

○統合校の魅力化：コース制の導入（多様なニーズに対応）

- (例) 喜多方高校：アドバンスト探究コース（1年次からの特進コース）
スタンダード探究コース（2年次からの進学コース）
キャリア探究コース（2年次からの就職対応コース）

○地域と連携した教育活動としての「地域人材育成推進事業」実践例

- ・地域探究活動 → 地域の歴史文化を学ばせる（フィールドワーク）
- ・地域の特色に合わせた取組 → 長沼まつりや大俵引きなど地域の祭りへの参画や遠野和紙の継承活動、防災の探究活動など
- ・高校生と住民の相互理解の場 → 早乙女踊りなど地域の伝統を地域との協働により広げる取組や地域の方々を対象とした地域課題探究の発表会の開催

《後期実施計画の推進と魅力化》

1 1学級規模の本校化

県立石川高校 ○令和6年度からのコミュニティ・スクール導入に向けて研修会を開催

2 統合等の再編整備

学校名 (学級数)	実施 年度	再編等の方向性 (学科・学級数)	統合校の方向性・特色	懇談会の進捗
いわき総合 ⑤	R 7	総合学科・6学級	・総合学科の特色を生かしたカリキュラム編成と特に演劇・芸術教育を生かしたコミュニケーション力・表現力を高める教育の実践	・生徒への配慮から校舎方式をとることで御理解いただき、懇談会は一区切りとした(R4.11.28) 年度内に統合校の校名決定
好間 ②				
船引 ③	R 8	総合学科・4学級	・大学進学のための文理探究系列と職業系のプロフェッショナル系列を設置し、船引のデュアル実習も継承	・生徒への配慮から校舎方式をとることで御理解いただき、懇談会は一区切りとした(R5.1.19)
小野 ②				
平商業 ④	R 8	商業科・4学級 情報科・1学級	・本県初の情報科におけるIT人材の育成や地域と連携した地域人材の育成と四倉のデュアル実習の継承	・生徒への配慮から校舎方式をとることで御理解いただき、懇談会は一区切りとした(R5.8.3)
四倉 ②				
福島西 ⑤	R 9	探究科・1学級、 デザイン科学科・1学級 総合学科・4学級	・進学指導重点校として、進学に特化した探究科を設置し、デザイン科学科、総合学科においても大学進学に対応	・魅力化について、県北地区の全ての中学生へのアンケート結果を踏まえた検討内容を次回示す
福島北 ④				

3 特色ある学科への改編

○修明高等学校 新学科：文理探究科（仮称）1学級設置（令和6年度）

- ・これまでの文理科を学科改編し、地域課題解決に向けSDGsの視点を取り入れた探究活動に取り組み、大学への進学にも対応する教育課程を編成
- ・探究活動を通して、課題発見力や他と協働して解決策を見だし、発信できる力を育成するとともに、多様な他者と共に豊かな社会や地域を創造できる人材を育成
- ・教育課程については、先行して令和5年度より文理探究科の内容を実践

○郡山高等学校 新学科：探究科（仮称）2学級設置（令和7年度）

- ・グローバルな視点で、新たな価値を創造できる生徒を育成
- ・英語をツールとして国内外の多様な人と調和・協働できる生徒を育成
- ・国際機関とも連携し、世界規模の課題にも粘り強く取り組む生徒を育成
- ・進学指導重点校として、探究科を進学に特化した学科に位置づけ、探究活動を通して課題発見力、表現力、発信力を育成し、一般入試に加え、AO入試や総合型選抜入試にも対応できる力を育成